男女共に予選突破

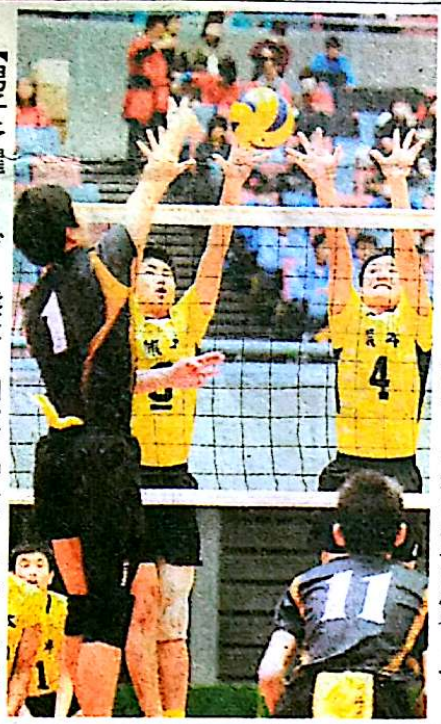
都道府県対抗中学バレー

JOCジュニアオリンピックカップ第30回全国都道府県対抗中学バレーボール大会は25、26日、大阪市中央体育館などで男女の予選リーグを行い、県選抜は男女ともに2連勝で決勝トーナメント進出を決めた。

県選抜の男子は、26日に2試合を行い、埼玉から2セットとも25－19で奪うと、続く和歌山戦は相手のミスなどもあり圧倒した。女子は25日に栃木を接戦の末退けると、26日の徳島戦は第2セットがジュースまでもつれながらも連取した。

第3日は27日、同体育館などで男女の決勝トーナメント3回戦までを行う。

（山本遼）



【男子予選リーグ・熊本―和歌山】第1セット、相手スパイクをブロックする熊本の谷（右）と水町＝大阪市中央体育館

＝県勢記録＝

【男子】▽予選リーグ15組

熊本2（25－19、25－19）0埼玉

熊本2（25－14、25－10）0和歌山

【女子】▽予選リーグ1組

熊本2（27－25、25－17）0徳島

熊本2（25－15、25－23）0栃木

クイックで翻弄

○…男子の県選抜は、予選リーグ2戦ともに危なげない試合運びで決勝トーナメント進出を決めた。主将の水町泰杜（菊鹿）は「しっかり拾ってつないで点を取ることができた。まずまずのスタート」と汗を拭った。

初戦の埼玉戦を快勝すると、2戦目の和歌山戦ではクイックを多用して相手を翻弄（ほんろう）した。池松洋彦監督（三和中教）は「硬さから簡単なミスをした場面もあったが、それでもしっかり勝ち切れたのは収穫」とうなずいた。

27日からは決勝トーナメントが始まる。水町は「目指すのは優勝しかない。もっとスパイクを決めていきたい」と力を込めた。

女子が決勝へ

都道府県対抗中学ハンド

ハンドボールの中学選抜メンバーが都道府県対抗方式で競う第25回ジュニアオリンピックカップ第3日は26日、沖縄・浦添市民体育館であり、女子の熊本県選抜は決勝トーナメント1回戦で愛知県選抜に20－14で快勝。同準決勝で東京都選抜に24－16で大勝して決勝に進んだ。

最終日の27日は同会場で男女決勝があり、女子の熊本県選抜は大分県選抜との決勝に臨む。

＝県勢記録＝

【女子】▽決勝トーナメント1回戦

熊本県選抜20（8－8、12－6）14愛知県選抜

▽同準決勝

熊本県選抜24（11－10、13－6）16東京都選抜

スポーツ速報
モバイル版
くまにちコム（有料）
アクセスはこちらへ
http://kumanichi.com/qr/